

# サロマ湖地区および元稲府地区特定漁港漁場整備事業計画

北海道開発局 農業水産部 水産課

## 1. はじめに

令和2年7月、サロマ湖地区および元稲府地区において新たな特定漁港漁場整備事業計画が策定されたので概要について報告します。

## 2. サロマ湖地区

### 1) 地区の特徴

サロマ湖漁港は、オホーツク海とサロマ湖をつなぐ湖口部に位置し、湖内漁港の漁船がオホーツク海に出漁するための唯一の航路であるとともに、湖内と外海の海水交換機能を保持し、湖内の水質環境の維持を図る重要な役割を担っています。

### 2) 事業の目的

#### ①国内外への安定的な水産物供給体制の確保

近年、第1湖口では沿岸漂砂の影響により航路内に浅瀬が形成され、漁船の航行に支障を来しているほか、第2湖口では沿岸漂砂による湖口閉塞に伴う湖内環境の悪化等が懸念されています。また、平成30年2月には第1湖口地区のアイスブームのロープ1本が切断し、湖内への流水流入が発生しました。

このため、漂砂対策施設の整備により漁船航行の安全性確保と湖内水質環境の保全を図るとともに、流水接岸時におけるアイスブーム切断時の復旧作業の迅速な対応を図り、養殖漁業等への被害を未然に防止する必要があります。

以上の取組により、国内外への安定的な水産物供給体制を確保し、輸出を視野に入れた品質面・コスト面で競争力ある流通構造の確立を図るものです。

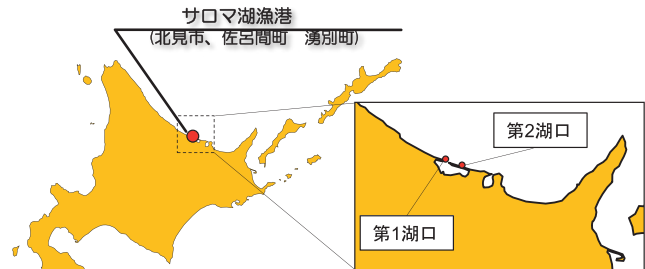
### 3) 主要工事計画

【第1湖口地区】東防波堤 210m、西外防波堤 220m、  
-4.5m 航路 106,000m<sup>2</sup>

【第2湖口地区】東防砂堤 130.1m、西防砂堤 130.1m、  
-4.5m 航路 4,000m<sup>2</sup> ほか

・計画事業費：6,737 百万円

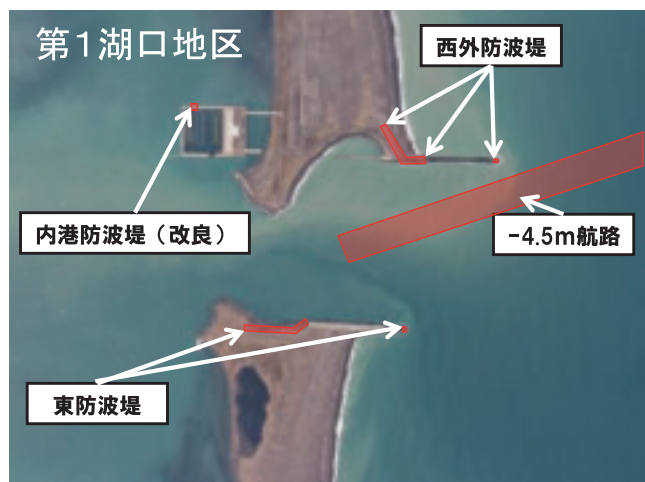
・事業期間：令和2年度～令和11年度



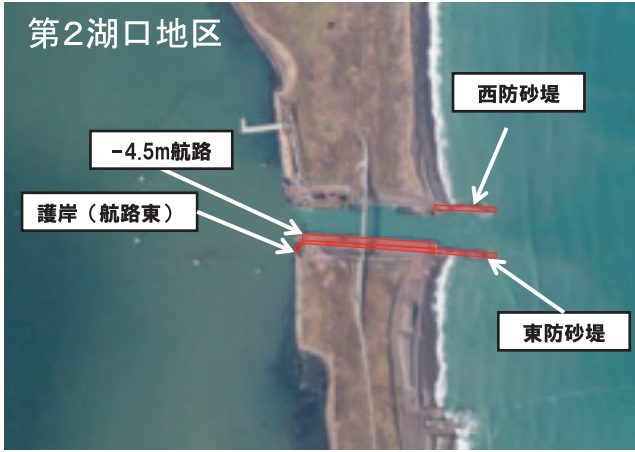
サロマ湖地区位置図



サロマ湖地区航空写真



サロマ湖地区(第1湖口地区)整備概要



サロマ湖地区(第2湖口地区)整備概要

### 3. 元稲府地区

#### 1) 地区の特徴

元稲府漁港は、北海道北東部のオホーツク海沿岸に位置し、ホタテガイ底びき網漁業を主体とした水産物の生産拠点であるとともに、国内外への安定的な水産物供給拠点になっています。また、オホーツク海域で操業する漁船の避難拠点として重要な役割を担っています。

#### 2) 事業の目的

##### ①国内外への安定的な水産物供給体制の確保

海象条件の変化等により、近年、沖からの波浪と二重堤間から発生する港口方向の流れが重なることにより波高が増大し、航路部で船体が波頭に乗り上げ舵が効かなくなる等、操船環境の悪化によって非常に危険な航行を強いられている。

このため、沖合に島防波堤を設置し、航路への進入波を抑制するとともに、北防波堤の一部を移設した上で二重堤間に潜堤を造成することで航路方向への流速を低減させ、波高の増大を抑止します。これにより、漁船の安全な航行を確保し、漁獲機会の喪失回避、出荷時間の遅延防止等による漁業生産の安定化を図り、国内外への安定的な水産物供給体制を確保するものです。

##### ②防災対策

海象条件の変化による航路部の静穏度悪化に伴い、元稲府漁港沖合で操業する外来船の入港に支障を来し当漁港への避難が不可能な状況にあります。そのため、外郭施設の整備により、安全な操船環境を確保し、海難による事故からの回避を図るものです。

##### ③漁業活動の安全性・効率性の向上

本漁港の第1港区では、漁船の航跡波により港内擾乱が発生し、陸揚げ等の作業に支障を来しています。また、強風により巻き上げられた土埃が衛生管理エリアに侵入するなど、水産物の衛生保持や品質低下が懸念されています。

このため、航跡波の反射を防止し港内擾乱を解消する岸壁の改良整備を行うとともに、用地の防塵処理を行い、漁業活動の安全性・効率性の確保及び衛生管理対策の強化を図るものです。

以上の取組により、輸出を視野に入れた品質面・コスト面で競争力ある流通構造の確立を図ります。

#### 3) 主要工事計画

- ・島防波堤 80.0m、北防波堤(改良)60.0m、-3.5m岸壁(改良)114.8m、ほか
- ・計画事業費：3,020 百万円
- ・事業期間：令和2年度～令和11年度



元稲府地区位置図



元稲府地区整備概要